

【 第 2 5 回中標津町まちづくり町民会議報告 】

日時：平成 2 3 年 5 月 1 1 日（水） 1 9 : 0 0 ~ 2 1 : 3 0

場所：中標津町役場 3 階 3 0 1 号会議室

出席者： 2 4 名（中標津町まちづくり町民会議委員 1 5 名、ファシリテーター 1 名（東田）
職員プロジェクト 3 名、事務局 5 名）

< 会議次第 >

1 開 会

2 開会挨拶

3 議 題

(1) 前回の振り返り

(2) 全体討議

条文の確認について

・ 第 1 章 総則

・ 第 2 章 基本原則に基づく制度

第 5 条

第 6 条

第 7 条

条文の内容について

・ 第 2 章 基本原則に基づく制度

第 8 条

第 9 条

第 1 0 条

・ 第 5 章 議会

・ 第 6 章 行政

・ 第 7 章 行政運営

(3) 今回の振り返りと次回の確認

4 閉会挨拶

5 閉 会

< 配布資料 >

・ 第 1 章 町民会議案

・ 第 2 章 全体討議案（第 5 条、第 6 条、第 7 条）

・ 第 2 章 ですます調修正案（第 8 条、第 9 条、第 1 0 条）

・ 第 5 章 ですます調修正案

<会議結果報告>

1 開会

2 挨拶：杉本会長

3 議題<進行：東田ファシリテーター>

(1) 前回の振り返り

東田ファシリテーターより報告書にて説明

(2) 全体討議

条文の確認について

・第1章 総則

条文について、確認し、町民会議案とした。

([第1章町民会議案\(P8\)](#))

・第2章 基本原則に基づく制度

第5条(情報共有及び公開)

条文について、確認し、町民会議案とした。

第6条(個人情報の保護)

条文について、確認し、町民会議案とした。

第7条(町民の意見や要望への対応)

文言を整理し、下記のとおり決定した。

(町民の意見や提案への対応)

第7条 議会と行政は、町民参加によって寄せられた意見や提案に対し、誠実で迅速に対応し、総合的に検討します。

2 議会と行政は、意見や提案の検討を終えたときは、速やかに多様な方法を用いて、意見や提案の内容、検討結果及びその理由を公表します。ただし、条例の規定により公表することが適当でないと認められたときは、この限りではありません。

([第2章全体討議案\(P10\)](#))

条文の内容について

・第2章 基本原則に基づく制度

第8条(町民参加の機会の保障)

子供たちの参加の機会も保障する条文を事務局で検討し、書き加えることとし、次回確認することとした。

[全体討議風景]



(町民参加の機会の保障)

第8条 議会と行政は、次の項目を実施する場合は、町民参加の機会を保障し、意向を反映します。ただし、満20歳未満の青少年と子どもを除きます。

- (1) 町民に義務を課し、又は町民の権利を制限する内容の条例を制定、改正及び廃止をするとき
 - (2) 町民の生活に大きな影響を及ぼす施策を決定するとき
 - (3) 広く町民が利用する公共施設の管理運営方法などの決定をするとき
 - (4) 総合計画及び分野別の基本的な計画の策定、又は見直しをするとき
 - (5) 施策を効果的かつ効率的に推進するための行政評価を実施するとき
- 2 前項の各号に規定したもののほか、町民が参加できる機会を設け、議会運営と行政運営に反映します。
- 3 法令の規定によるものや緊急を要するものは、町民参加を求めないことができます。

第9条(町民参加の方法)

子供たちの参加の方法の条文を事務局で検討し、書き加えることとし、次回確認することとした。

(町民参加の方法)

第9条 議会と行政は、次の方法を活用して、必要かつ適切な時期に町民参加の機会を保障します。ただし、満20歳未満の青少年と子どもは、それぞれの年齢にふさわしい方法により、町民参加できるものとします。

- (1) 審議会等への委員としての参加
 - (2) 意見交換会等への参加
 - (3) アンケート調査等への意見表明
 - (4) 町民意見募集制度(パブリックコメント)への意見表明
 - (5) その他適切な方法
- 2 前項各号の方法に関して必要な事項は、別に定めます。

第10条(住民投票)

ですます調修正案を了承し、下記のとおり決定した。

(住民投票)

第10条 町長は、次の項目のいずれかに該当し、議会が住民投票の実施を議決した場合は、住民投票を実施します。

- (1) 議会の議員と町長の選挙権を有する住民が、地方自治法第74条の規定に基づき、住民投票条例の制定を町長に請求したとき
 - (2) 議会の議員が、地方自治法第112条の規定に基づき、住民投票条例を発議したとき
 - (3) 町長が、中標津町の重要な課題に関して、住民の意思を直接確認する必要があると判断したとき
- 2 住民投票に参加できる者の資格とその他住民投票の実施に必要な項目は、それぞれの事案に応じて、別に条例で定めます。
- 3 議会と行政は、住民投票の結果を尊重します。

・ 第 5 章 議会

第 1 7 条 (議会の役割と権限)

第 1 8 条 (議会の責務)

第 1 9 条 (議員の責務)

第 2 0 条 (議会と行政の役割)

下記のとおり意見があり、議会のお話を聴くこととした。

ここで、時間切れとなり、第 6 章、第 7 章は、別途協議することとした。

議会部分の試案を検討して、「第 5 章議会」全体に対する意見

- ・ 試案の内容が、議会基本条例で書くような詳細な内容が多く、議会基本条例をつくり、盛り込んだほうがいいのではないかと
- ・ 自治基本条例は、シンプルに町民に分かりやすく、整理された表現にしたい。町民が迷うような、複雑な表現は避けたい。「努めます」という表現にはしない。やることをハッキリと宣言する条例として、文章を町民会議の総意として検討している。条例全体での統一感を持ちたい。「努めます」という文末について再検討していただきたい。
- ・ 議会として大切な精神や心構えを書いて欲しい。

なぜ、努めますではダメなのか、言いきってほしいのか。

- ・ 消極的な表現であり、町民が本当にやるのかどうか不安を感じる表現は避けたい。
- ・ 普遍的なルールとして条例を作りたい。
- ・ 議会と行政と町民が手をたずさえて、前へ向かっていくという「決意と覚悟を表す条例」として取り組むイメージで町民会議が取り組んでいる。他の条文が言い切り型で決意を表現しているのに、議会の関わる部分だけが「努めます」という努力目標ではおかしい。「～します」と宣言してほしい。

議会の皆さんへのお願い

- ・ いろいろ検討した結果、この試案になった経緯や思いを聞き、その上でより良い検討をしたいので、ぜひ一度お話を聞かせてほしい。

(議会の役割と権限)

第 1 7 条 議会は、選挙で選ばれた町民を代表する議員で構成されるまちの意思決定機関であり、政策を立案するとともに、執行機関による行政運営を監視する機関です。

2 議会は、議決機関として予算、決算、財産及び政策執行等に関わる意思決定を行う権限を有します。

3 議会は、条例の制定及び改正並びに廃止の権限を有します。

4 議会は、行政の事務に対する監査請求や調査等の監視の権限を有します。

5 議会は、まちの将来の方向性とその実現のため、総合発展計画と都市計画マスタープランを議決する権限を有するとともに、他の議決事項については、地方自治法第 96 条第 2 項の規定を準拠します。

条文試案に対する意見

「役割と権限」の2つの項目が書かれているので、分かりにくい。分けた方が明確になるし、町民に分かりやすいので、分けてほしい。

機関の名称が複合的にあり、町民が読んだ時に迷う。分かりやすくしてほしい。(第17条、第18条に共通)

町民の定義から考えると、「町民を代表する」という表現ではなく、「住民」ではないか。

第19条には「住民から選ばれた公職者」、第20条には「住民の選挙によって選出された議員」という表現があり、整合性がないのではないか。(第17条、第19条、第20条に共通)

総合発展計画やマスタープランの議決の権限が書かれているが、他の重要な議案もあるので、詳細すぎる文言となっていると感じる。

(議会の責務)

第18条 議会は、議決機関としての責任を常に自覚し、まちの将来展望をもって活動する責務を有します。

2 議会は、町民からの意見を聴取し、議会運営について町民に説明する責務を有します。

3 議会は、情報共有の原則に基づき、町民に本会議や委員会を常に公開し、議論の透明性を図るとともに、非公開の場合は理由を明らかにする責務を有します。

4 議会は、町民から提出される請願及び要望等を速やかに検討し、回答する責務を有します。

5 議会は、報告会等を開催し、直接、町民との対話の機会を設けるとともに、議会における意思決定の内容とその経過を広報紙等で報告しなければなりません。

条文試案に対する意見

機関の名称が複合的にあり、町民が読んだ時に迷う。分かりやすくしてほしい。(第17条、第18条に共通)

(議員の責務)

第19条 議員は、住民から選ばれた公職者として、中標津町議会議員政治倫理条例(平成14年条例第30号)を遵守し、公益実現のため努力しなければなりません。

2 議員は、町民が主体の自治の推進と町民福祉の向上をめざし、常に政策提案するよう努めなければなりません。

3 議員は、条例、政策立案能力及び審議能力等を高めるため、常に自己研鑽に努めなければなりません。

4 議員は、町民の意思の反映を図るため、自主的にまちづくりに関する調査研究に努めなければなりません。

条文試案に対する意見

最高規範として作る自治基本条例なので「倫理条例を遵守する」という表現ではなく、自治基本条例は、「町民憲章を遵守する条例」として、検討しているので、すべての基本となるように書いてほしい。

第19条全体に、「努めなければなりません」という文末に条例全体との整合性がなくなる。他の条文の文末と同じように、「～します」と言い切り型の文末にしてほしい。

「努力しなければなりません」 「公益実現のため、活動します」

「努めなければなりません」 「～します」「政策提案します」

「自己研鑽します」「調査研究します」

議員の表現について、整合性がないのではないか。(第17条、第19条、第20条に共通)

(議会と行政の役割)

第20条 議会と行政は、住民の選挙によって選出された議員と町長及び執行機関によって構成され、その特性を活かして、町民の意思を的確に反映させるよう議論の透明性と緊張感をもって運営されます。

2 本会議における議員と町長及び執行機関の職員の質疑応答は、論点、争点を明確にするため、一問一答方式で行うこととし議員等の質問に対し、議長の許可を得て、反問することができます。

3 議会と行政は、地域特性を活かした独創的な政策立案を図るため、広く専門家や町民各層の意見を聴くとともに、積極的に研修会等を企画し、まちの発展のため活動します。

条文試案に対する意見

議員の表現について、整合性がないのではないか。(第17条、第19条、第20条に共通)

本議会の記述があるが、細かい表現が多い。役割として、大切な精神や心構えを書いてほしい。

(第5章ですます調修正案(P13))

[全体討議風景]



(3) 今回の振り返りと次回の確認

東田ファシリテーターより説明

- ・次回について、全町内会連合会から推薦され、委員となっている中畑さんを中心に第3章町民、第4章町内会等を協議する。
- ・5月12日の第26回は、開催時間を18：30から21：30として、第3章、第4章を終わらせる。
- ・スケジュールを確認したがすでに、本日、第6章、第7章を討議できませんでしたので、明日、見直しをして、皆さんに提示する。

次々回以降の町民会議の日程は、下記のとおり予定しております。

第27回 平成23年 5月26日(木) 役場3階301号会議室

第28回 平成23年 5月27日(金) 役場3階301号会議室

(4) その他

特になし。

4 閉会挨拶：飯島副会長

5 閉 会

第1章 総則 討議案

試案	全体討議案
<p>(目的)</p> <p>第1条 この条例は、中標津町の自治の基本理念及び基本原則を定め、町民の権利及び役割並びに議会及び行政の責務を明らかにするとともに、それぞれの基本的な事項及び制度を定めることにより、町民が主体の自治の実現を図ることを目的とする。</p>	<p>(目的)</p> <p>第1条 この条例は、中標津町の自治の基本理念と基本原則を定め、町民の権利と役割、議会と行政の責務を明らかにし、それぞれの基本的な事項と制度を定めることにより、町民が主体の自治の実現を図ることを目的とします。</p>
<p>(用語の定義)</p> <p>第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 町民 町内に住所を有する者、町内で働き、又は学ぶ者及び町内で活動する法人その他の団体をいう。</p> <p>(2) 議会 選挙で選ばれた町議会議員によって構成される議決機関をいう。</p> <p>(3) 行政 町長、執行機関(教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会及び固定資産評価審査委員会)をいう。</p>	<p>(用語の定義)</p> <p>第2条 この条例で使用する用語の意味を、次のとおり定めます。</p> <p>(1) 町民 町内に住所を有する人(以下「住民」という。)町内で働き、又は学ぶ人及び町内で活動する法人その他の団体をいいます。</p> <p>(2) 議会 選挙で選ばれた町議会議員によって構成される議決機関をいいます。</p> <p>(3) 行政 町長、執行機関(教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会及び固定資産評価審査委員会を含む。)及びその職員をいいます。</p> <p>(4) 情報共有 議会と行政が公開する情報を、町民、議会及び行政が内容、量ともに同じ情報を持つことをいいます。</p> <p>(5) 町民参加 町民が暮らしやすい地域社会をつくるために、主体的にかかわり、行動することをいいます。</p> <p>(6) 協働 町民、議会及び行政が共通の目的を実現するために、それぞれの役割と責任により、相互の立場を尊重し、対等な関係に立って協力することをいいます。</p>

第1章 総則 討議案

試案	全体討議案
<p>(自治の基本理念)</p> <p>第3条 私たちは、中標津町民憲章の精神を尊重するとともに、次に掲げる事項によって町民が主体の自治を推進することを基本とする。</p> <p>(1) 私たちのまちは、私たちが創造するという明確な意思を持って考え、行動し、互いに支え合い、安心して暮らせる、住みよい中標津町の実現をめざします。</p> <p>(2) 協働の精神を大切にして、課題を見いだし、解決に努め、常に進歩する町民が主体の自治をめざします。</p> <p>(3) 町民が主体の自治を、次世代に引き継いでいくという意思のもとに、継続可能な地域社会の創造をめざします。</p>	<p>(自治の基本理念)</p> <p>第3条 町民、議会及び行政は、中標津町民憲章の精神を尊重し、町民が主体の自治を推進することを基本とします。</p>
<p>(自治の基本原則)</p> <p>第4条 町民、議会及び行政は、次に掲げる原則に基づき、中標津町の自治の実現を図るものとする。</p> <p>(1) 情報共有の原則 町民、議会および行政は議会及び行政が保有する情報を共有すること。</p> <p>(2) 町民参加の原則 町民の参加の下に行政運営が行われること。</p> <p>(3) 協働の原則 町民、議会及び行政がそれぞれの役割及び責任に応じ、対等な関係で協力すること。</p>	<p>(自治の基本原則)</p> <p>第4条 町民、議会及び行政は、次の原則に基づき、中標津町の自治の実現を図ります。</p> <p>(1) 情報共有の原則 町民、議会及び行政が、議会と行政が保有する情報をお互いに共有することをいいます。</p> <p>(2) 町民参加の原則 町民の参加により行政運営が行われることをいいます。</p> <p>(3) 協働の原則 町民、議会及び行政がそれぞれの役割と責任により、対等な関係で協力することをいいます。</p>

第2章 基本原則に基づく制度

試案	全体討議案
<p>(情報共有及び公開)</p> <p>第5条 議会及び行政は、その保有する情報が町民と共有する財産であることを認識するとともに、正しい、分かりやすい情報を積極的に公開するため、次に掲げる制度を設けるものとする。</p> <p>(1)議会及び行政の情報を正確に分かりやすく提供する制度</p> <p>(2)議会及び行政の会議を公開する制度</p> <p>(3)町民の意見や提案(以下「意見等」という。)が行政運営に反映される制度</p> <p>(4)議会及び行政が保有する文章その他の記録を請求する制度</p> <p>2 議会及び行政は、その保有する情報を統一した基準により管理し、保存しなければならない。</p> <p>3 第1項各号に関して必要な事項は、別に条例等で定める。</p>	<p>(情報共有及び公開)</p> <p>第5条 議会と行政は、正しく、分かりやすい情報を積極的に公開するため、次の制度を設けます。</p> <p>(1)議会と行政の情報を正確に分かりやすく伝える制度</p> <p>(2)議会と行政の会議を公開する制度</p> <p>(3)議会と行政が保有する文章その他の記録を町民が請求する制度</p> <p>(4)町民の意見や提案が行政運営に反映される制度</p> <p>2 議会及び行政は、その保有する情報を統一した基準により管理し、保存しなければなりません。</p> <p>3 第1項の各号に関して必要な事項は、別に条例で定めます。</p>
<p>(個人情報の保護)</p> <p>第6条 議会及び行政は、町民の個人情報の保護を図るため、別に条例で定めるところにより、その保有する個人情報の開示等を請求する権利を保障するとともに、個人情報の収集、利用その他の取扱いを適正に行うものとする。</p>	<p>(個人情報の保護)</p> <p>第6条 議会と行政は、町民の権利や利益が侵害されることのないよう、議会と行政がもつ個人情報を保護しなければなりません。</p> <p>2 個人情報の保護について、別の条例で定めます。</p>

第2章 基本原則に基づく制度

試案	全体討議案
<p>(意見等への対応)</p> <p>第7条 議会及び行政は、町民参加によって寄せられた意見等を総合的に検討するものとする。</p> <p>2 議会及び行政は、意見等の検討を終えたときは、速やかにかつ多様な方法を用いて次の事項を公表するものとする。ただし、前条の規定により公表することが適当でないとき、この限りでない。</p> <p>(1) 意見等の内容</p> <p>(2) 意見等の検討結果及びその理由</p>	<p>(町民の意見や要望への対応)</p> <p>第7条 議会と行政は、町民参加によって寄せられた町民の意見や要望に対し、誠実で迅速に対応し、総合的に検討します。</p> <p>2 議会と行政は、町民の意見や要望の検討を終えたときは、速やかに多様な方法を用いて、町民の意見や要望の内容、検討結果及びその理由を公表します。ただし、条例の規定により公表することが適当でないとき、この限りではありません。</p>
<p>(町民参加の推進)</p> <p>第8条 議会及び行政は、次の事項を実施する場合は、法令の規定によるものや緊急を要するものを除き、町民の参加を推進し、意向を反映するものとする。</p> <p>(1) 町民に義務を課し、又は町民の権利を制限することを内容とする条例の制定、改正及び廃止をするとき</p> <p>(2) 町民の生活に大きな影響を及ぼす施策を決定するとき</p> <p>(3) 広く町民が利用する公共施設の管理運営方法などの決定をするとき</p> <p>(4) 総合計画及び分野別の基本的な計画の策定又は見直しをするとき</p> <p>(5) 施策を効果的かつ効率的に推進するための行政評価を実施するとき</p> <p>2 前項各号に規定するもののほか、町民が参加できる機会を設け、議会運営及び行政運営に反映する。</p>	<p>(町民参加の保障)</p> <p>第8条 議会と行政は、次の項目を実施する場合は、町民の参加を保障し、意向を反映します。</p> <p>(1) 町民に責任と義務を課し、又は町民の権利を制限する内容の条例を制定、改正及び廃止をするとき</p> <p>(2) 町民の生活に大きな影響を及ぼす施策を決定するとき</p> <p>(3) 広く町民が利用する公共施設の管理運営方法などの決定をするとき</p> <p>(4) 総合計画及び分野別の基本的な計画の策定、又は見直しをするとき</p> <p>(5) 施策を効果的かつ効率的に推進するための行政評価を実施するとき</p> <p>2 前項の各号に規定したもののほか、町民が参加できる機会を設け、議会運営と行政運営に反映します。</p> <p>3 法令の規定によるものや緊急を要するものは、町民参加を求めないことができます。</p>

第2章 基本原則に基づく制度

試案	全体討議案
<p>(町民参加の方法)</p> <p>第9条 議会及び行政は、前条に規定する事項を実施するときは、次に掲げる方法を活用して、必要かつ適切な時期に町民の参加を求めるものとする。</p> <p>(1) 審議会等への委員としての参加</p> <p>(2) 意見交換会等への参加</p> <p>(3) アンケート調査等への意見表明</p> <p>(4) 町民意見募集制度(パブリックコメント)への意見表明</p> <p>(5) その他適切な方法</p> <p>2 前項各号の方法に関し必要な事項は、別に定める。</p>	<p>(町民参加の方法)</p> <p>第9条 議会と行政は、町民参加を実施し、意向を反映するときは、次の方法を活用して、必要かつ適切な時期に町民の参加を求めます。</p> <p>(1) 審議会等への委員としての参加</p> <p>(2) 意見交換会等への参加</p> <p>(3) アンケート調査等への意見表明</p> <p>(4) 町民意見募集制度(パブリックコメント)への意見表明</p> <p>(5) その他適切な方法</p> <p>2 前項各号の方法に関して必要な事項は、別に定めます。</p>
<p>(住民投票)</p> <p>第10条 町長は、次の事項のいずれかに該当し、議会が住民投票の実施を議決した場合は、住民投票を実施するものとする。</p> <p>(1) 議会の議員及び町長の選挙権を有する住民が、地方自治法第74条の規定に基づき、住民投票条例の制定を町長に請求したとき</p> <p>(2) 議会の議員が、地方自治法第112条の規定に基づき、住民投票条例を発議したとき</p> <p>(3) 町長が、中標津町の重要な課題に関して、住民の意思を直接確認する必要があると判断したとき</p> <p>2 住民投票に参加できる者の資格及びその他住民投票の実施に必要な事項は、それぞれの事案に応じて、別に条例で定める。</p> <p>3 議会及び行政は、住民投票の結果を尊重するものとする。</p>	<p>(住民投票)</p> <p>第10条 町長は、次の項目のいずれかに該当し、議会が住民投票の実施を議決した場合は、住民投票を実施します。</p> <p>(1) 議会の議員と町長の選挙権を有する住民が、地方自治法第74条の規定に基づき、住民投票条例の制定を町長に請求したとき</p> <p>(2) 議会の議員が、地方自治法第112条の規定に基づき、住民投票条例を発議したとき</p> <p>(3) 町長が、中標津町の重要な課題に関して、住民の意思を直接確認する必要があると判断したとき</p> <p>2 住民投票に参加できる者の資格とその他住民投票の実施に必要な項目は、それぞれの事案に応じて、別に条例で定めます。</p> <p>3 議会と行政は、住民投票の結果を尊重します。</p>

試案	全体討議案
<p>(議会の役割と権限)</p> <p>第 17 条 議会は、選挙で選ばれた町民を代表する議員で構成されるまちの意思決定機関であり、政策を立案するとともに、執行機関による行政運営を監視する機関である。</p> <p>2 議会は、議決機関として予算、決算、財産及び政策執行等に関わる意思決定を行う権限を有する。</p> <p>3 議会は、条例の制定及び改正並びに廃止の権限を有する。</p> <p>4 議会は、行政の事務に対する監査請求や調査等の監視の権限を有する。</p> <p>5 議会は、まちの将来の方向性とその実現のため、総合発展計画と都市計画マスタープランを議決する権限を有するとともに、他の議決事項については、地方自治法第 96 条第 2 項の規定を準拠する。</p>	<p>(議会の役割と権限)</p> <p>第 17 条 議会は、選挙で選ばれた町民を代表する議員で構成されるまちの意思決定機関であり、政策を立案するとともに、執行機関による行政運営を監視する機関です。</p> <p>2 議会は、議決機関として予算、決算、財産及び政策執行等に関わる意思決定を行う権限を有します。</p> <p>3 議会は、条例の制定及び改正並びに廃止の権限を有します。</p> <p>4 議会は、行政の事務に対する監査請求や調査等の監視の権限を有します。</p> <p>5 議会は、まちの将来の方向性とその実現のため、総合発展計画と都市計画マスタープランを議決する権限を有するとともに、他の議決事項については、地方自治法第 96 条第 2 項の規定を準拠します。</p>

試案	全体討議案
<p>(議会の責務)</p> <p>第 1 8 条 議会は、議決機関としての責任を常に自覚し、まちの将来展望をもって活動する責務を有する。</p> <p>2 議会は、町民からの意見を聴取し、議会運営について町民に説明する責務を有する。</p> <p>3 議会は、情報共有の原則に基づき、町民に本会議や委員会を常に公開し、議論の透明性を図るとともに、非公開の場合は理由を明らかにする責務を有する。</p> <p>4 議会は、町民から提出される請願及び要望等を速やかに検討し、回答する責務を有する。</p> <p>5 議会は、報告会等を開催し、直接、町民との対話の機会を設けるとともに、議会における意思決定の内容及びその経過を広報紙等で報告しなければならない。</p>	<p>(議会の責務)</p> <p>第 1 8 条 議会は、議決機関としての責任を常に自覚し、まちの将来展望をもって活動する責務を有します。</p> <p>2 議会は、町民からの意見を聴取し、議会運営について町民に説明する責務を有します。</p> <p>3 議会は、情報共有の原則に基づき、町民に本会議や委員会を常に公開し、議論の透明性を図るとともに、非公開の場合は理由を明らかにする責務を有します。</p> <p>4 議会は、町民から提出される請願及び要望等を速やかに検討し、回答する責務を有します。</p> <p>5 議会は、報告会等を開催し、直接、町民との対話の機会を設けるとともに、議会における意思決定の内容とその経過を広報紙等で報告しなければなりません。</p>

試案	全体討議案
<p>(議員の責務)</p> <p>第 1 9 条 議員は、住民から選ばれた公職者として、中標津町議会議員政治倫理条例 (平成 14 年条例第 30 号) を遵守し、公益実現のため努力しなければならない。</p> <p>2 議員は、町民が主体の自治の推進と町民福祉の向上をめざし、常に政策提案するよう努めなければならない。</p> <p>3 議員は、条例、政策立案能力及び審議能力等を高めるため、常に自己研鑽に努めなければならない。</p> <p>4 議員は、町民の意思の反映を図るため、自主的にまちづくりに関する調査研究に努めなければならない。</p>	<p>(議員の責務)</p> <p>第 1 9 条 議員は、住民から選ばれた公職者として、中標津町議会議員政治倫理条例 (平成 14 年条例第 30 号) を遵守し、公益実現のため努力しなければなりません。</p> <p>2 議員は、町民が主体の自治の推進と町民福祉の向上をめざし、常に政策提案するよう努めなければなりません。</p> <p>3 議員は、条例、政策立案能力及び審議能力等を高めるため、常に自己研鑽に努めなければなりません。</p> <p>4 議員は、町民の意思の反映を図るため、自主的にまちづくりに関する調査研究に努めなければなりません。</p>

試案	全体討議案
<p>(議会と行政の役割)</p> <p>第 2 0 条 議会及び行政は、住民の選挙によって選出された議員と町長及び執行機関によって構成され、その特性を活かして、町民の意思を的確に反映させるよう議論の透明性と緊張感をもって運営されるものとする。</p> <p>2 本会議における議員と町長及び執行機関の職員の質疑応答は、論点、争点を明確にするため、一問一答方式で行うこととし議員等の質問に対し、議長の許可を得て、反問することができるものとする。</p> <p>3 議会及び行政は、地域特性を活かした独創的な政策立案を図るため、広く専門家や町民各層の意見を聴くとともに、積極的に研修会等を企画し、まちの発展のため活動するものとする。</p>	<p>(議会と行政の役割)</p> <p>第 2 0 条 議会と行政は、住民の選挙によって選出された議員と町長及び執行機関によって構成され、その特性を活かして、町民の意思を的確に反映させるよう議論の透明性と緊張感をもって運営されます。</p> <p>2 本会議における議員と町長及び執行機関の職員の質疑応答は、論点、争点を明確にするため、一問一答方式で行うこととし議員等の質問に対し、議長の許可を得て、反問することができます。</p> <p>3 議会と行政は、地域特性を活かした独創的な政策立案を図るため、広く専門家や町民各層の意見を聴くとともに、積極的に研修会等を企画し、まちの発展のため活動します。</p>